



住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくために、今できていること、これから必要なことは何かを地域の方のご意見をもとに、体制づくりをすすめています。

今回は、市内での取り組みを紹介します。

買物支援

① 県営西御堂住宅(萩原町連区) 移動販売の誘致

身体機能の低下により買物に困っている高齢者が多数いると感じていた町内会と、隣接の居宅介護支援事業所。双方がタッグを組んで、住民の意向調査、敷地内での販売許可、移動販売事業者誘致などを経て、平成29年春より月1回集会所前にて青空市を開催しています。



近くで
買い物
ができるのは
助かります

② 県営浅井住宅(浅井町連区) 送迎手段の確保

おさだ木曜ショッピング ※まちかど情報局(P8)参照

集いの場

① 福祉施設内での集いの場(木曾川町連区)

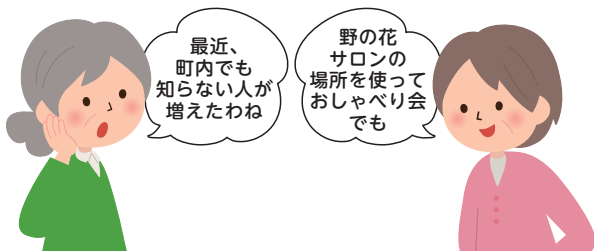
手先を使うお手玉作りや使用済切手の整理をしながら、おしゃべりや交流を楽しむ集いが、ボランティア団体(木曾川ほっぺの会)の協力により、介護老人施設サンリバーのお部屋をお借りして、開催されています。隔月1回午後1時30分～3時30分



前号で知る人ぞ知る集いの場の情報提供を呼びかけ、教えていただいた集いの場を紹介します。

② 旧・喫茶店を活用した町内の方限定の集いの場(宮西連区)

おでかけ広場やサロンとして登録はされていませんが、町内の方が毎月1回集まって、おいしいお菓子とお茶と会話を楽しむ「野の花サロン」が開かれています。



市内には、他にもまだまだ広く知られていない生活支援の取り組みがあるのではないのでしょうか？ぜひ、情報をお寄せください。

また、地域の方々の想いをつなげる支援も行っておりますので、ご相談ください。

【問合せ】本部 TEL85-7024